



希望するすべての 子どもたちにワクチンを!

～ワクチンで防げる病気から子どもたちを守るために必要なワクチンを無料接種できる環境を求めます～

日時 **7月6日(木)** コース (全長2km)
 三河台公園 ▶ 溜池交差点 ▶ 虎ノ門交差点 ▶ 厚生労働省 ▶ 日比谷公園

12:30 三河台公園 集合
(右記地図参照)

12:50 パレード 出発



パレードの参加申込み、詳細は
ホームページへ!
応援メッセージも受付中!

Q ワクチンパレード



僕も打ちます!



麻疹拡大阻止、風しんを排除するために

～必要なワクチンを確保し、費用の心配なく接種しやすい環境を求めます～

麻疹(はしか)は「排除状態」とされていますが、昨年は関西空港で海外からの流入で感染が拡大。今年も既に罹患報告が139例(4/19現在)にのぼっています。死亡率が高い麻疹(はしか)は今も治療がなく、助かっても数万人に1人がSSPE(亜急性硬化性全脳炎)という重篤な進行性の神経難病を発症し、数ヶ月で寝たきりになってしまう怖い病気です。また、風しんは2012年～2013年に大流行し2014年までの3年間に45人の赤ちゃんが「先天性風しん症候群」と診断されています。妊娠を希望する女性だけでなく周囲の男性もワクチンを接種し、2020年の東京オリンピックまでに風疹の流行をなくしていくことはわが国の重要な課題です。

今、国民が麻疹と風しんの感染を防ぐためにできる唯一の方法はMR(麻疹風しん混合)ワクチンを接種することです。感染拡大を防ぐために社会全体で95%まで接種率を高めることが急務となっています。一方で、昨年の流行でMRワクチンが不足し、地域によっては定期的子どもたちも接種できない状況がおきました。希望者が待たずに接種できるよう、国の責任でワクチンの生産・流通体制を強化する必要があります。そして、おたふくかぜやロタウイルスワクチンは今も任意接種のままです。また、HPV(子宮頸がん予防ワクチン)は現在、定期接種でありながら積極的勧奨中止により接種が4年近く滞っており、若い女性が防げるはずのがんの危険に晒されていることが気がかりです。

これらの課題について国が責任を持って接種環境の体制を強化し、国民が安心してワクチン接種ができる施策の実現を求めます。